

11 明治9年3月8日 菊池長閑

第三号三月八日

雨晴之節ハ漸微暖有之垣穗に蛭蝻之朝も見ゆるやうニ相成候併例之通折々寒冷さえかへり時として雪も降るとすれと昨冬も至而寒氣も不強薄雪故此上ハ格別之事あるましく候東京小川町様ニは無抛御次第ニ被為在御前様御離縁御後室様溝口様御相談ニ而本月三日御入輿之御口故と伺候未だ御済之御用状ハ不達之趣ニ候へ共先以恐悦ニ候悦又新聞ニ而近々承知可有之鹿兒島之事件不容易様子ニ相見得候庄内にもモヤクヤありて仙台鎮台兵山形ニ繰込又青森にも何欵ある様子と抔説あれとも是ハ新聞にも無之港説故無覚束先ツ只今ハ当県内ハ静謐ニ候宅命ハ二月二日出発末次郎同道十五日ニ京着之処鹿兒島一件ニ付直ニ横須賀ニ行廿五日ニ日進艦ニ而兵庫之向発錨末二郎ハ東京市カ谷町奈良真志ニ寄留ニ候本年一月御改革之砌一條ハ兄之方免職弟ハ其儘那珂ハ給ハ減候而已藤村も在職太田道三ハ免せられ近々下ると申事友二郎も昨今此元へ着と承り候外別条無之互之安否申通

しるまで也

武夫殿

長閑

(封筒裏)

「亜米利加国ポストン府

ボードウイン。ストリート

二十二番地 (武夫注記1)

菊池 武夫 殿

要書報平安

(武夫注記2)

(封筒裏)

「日本陸中国岩手県盛岡

外加賀野八十六番地

(武夫注記3) 菊池 長閑

三月八日發

(武夫注記1)

「Inquiry about manufacture of paper. — Peice of violin.」

(武夫注記2)

「答済」

(武夫注記3)

「ans = 67h」